

## 1、園の教育目標

～好きが見つかる、好きを見つける幼稚園～

「たのしいから好き！が合言葉。子どもたちも保護者も通いたくなる幼稚園をめざしています。」

## 2、本年度の重点目標

- (1) 親子参加型の「見える保育」の実現。
- (2) 人の話がしっかり聞ける子どもに育む。
- (3) 心身共に健康で情操豊かな子どもに育む。

## 3、自己評価

A：十分達成されている

B：達成されている

C：取り組まれているが、成果が十分ではない

D：取組が不十分である

目標・評価項目	取組み内容	取組み状況	評価
教育・保育内容の充実	今年度においても、本園の目指す方向を再確認しながら教育・保育を進めていく。昨年度取り組んできた内容を踏まえ、本園の望ましい体制を再構築しながら教育・保育の原点を見失わず、充実化を図る。	園の目指す方向を共有すべく、教職員間で話し合ってきた。常に子どもたちにとって最善の教育考え、実践していった。今後も教職員間の連携・活発な意見交換を進めていく。	A
	教職員の信頼関係を築き、良好な人間関係の構築を大事にする。フリー教員と担任教員の学年団体制を強固にし、保育の援助指導面と管理面で連携を図る。要支援児についても、他機関との連携を強め、質の高い保育を目指していく。	専門の施設・専門の有識者方と連携を取り、指導をいただくことができた。また、要支援児についても諸機関と連携を深め、最善の道を開くことができた。	B
①指導内容の充実	音楽・描画・体育・かず・もじに引き続き力を入れると共に、従来の教育課程に指導計画をスムーズに組み込み、より質の高い教育内容を目指していく。	担当教員との連携を図り、日頃の保育とつながっていくよう努力した。担当教員の配置を見直し、教員全体のもじことば・かずあそびのスキルの底上げができた。	A
②保育環境の充実	季節ごとに花の種蒔・植栽をおこない、自然教育と環境の充実を高める。	園庭において、季節の花の種蒔・植栽を行った。冬にはチューリップの球根を植えたり、季節ごとに散った花を利用し色水づくりなどあそびの展開ができた。	A

③預かり保育の充実	プログラムの充実（特に長期休暇）を図る。早朝・延長保育を実施する。プログラムの充実を図る。	長期休暇の預かり保育日数を増やし、保護者のニーズに応えた。	B
④日々の生活に絵本の時間の充実	絵本の時間を朝の会前に設定し、絵本に触れる時間を増やし、識字・姿勢を自然とたのしく身につける。	毎日の園での生活で、必ず絵本の時間を設定することができ、文字に触れ文字に興味を示す子どもが増えた。また席に座る時間の集中力も増す結果となった。	A
⑤教員の指導力の向上	園外の研修と指導體制の充実を図り、教員の指導力向上を図る。	園外の研修等に積極的に参加し、「発達障がいへの支援」「体育指導」「描画指導」「レクリエーション」などの各分野に参加し、他の教員と情報共有ファイルを作成し指導力の向上を図れた。	A
教職員の育成・評価・能力開発を図る	定期的な個人面談・園内研修・自己評価を通じて、教職員の能力向上を促す。	学期ごとの個人面談を行い、悩みや課題を聴取している。それぞれの個人行動目標シートに年度目標、学期目標を設定させ、具体的な行動、振り返りを記録させ、自己評価をさせることによって、能力、資質の向上を図った。教育実習、インターンシップを積極的に受け入れ、後進の指導にあたった。	A
園の施設・設備・遊具・行事などの総点検	施設、園庭、設備、遊具などの安全を、常時定期的に確認し、少しでも危険が予測される場合には速やかに改善していく。	問題のある箇所については速やかに改善した。また、常時、子どもの安全面で問題のある箇所について報告させ、対応している。	A
	園内清掃を徹底し、安全安心につなげる。	園庭、園舎内の清掃は、当番制も取り入れ、徹底化を図っている。	A
	行事のあり方、内容、方法について、再確認し、安全・安心な行事運営を再構築する。	職員会議で行事の内容、方法について、意見交換を行い、下見も繰り返して、安全面で問題がないか、確認し合っている。	A
子育て支援の実施	在園児であるなしに関わらず地域の子どもの発達に関する相談に引き続き応じ、保護者・教員・園の連携を高める。	月2回程度、園開放ほーしやなを設け、地域住民対象で、語らいの場を設け実施した。	A
園に対する保護者の満足度把握、情報共有及び情報公開	私学の独自性に配慮しつつ子育て中の保護者が期待する幼稚園像を確認し、地域社会に求められる本園の将来ビジョンの策定は引き続き行っていく。	保護者アンケートだけでなく保護者から直接、意見を聞き、保護者が期待する幼稚園を把握しつつ、自治体と情報交換しながら、本園の将来ビジョンの策定を行っている。	B
	保護者と教育・保育状況の情報共有をしていく。	HPのブログやお知らせを活用して、1日の出来事などの情報の発信、見える保育の実践を年間を通して工夫してきた。	A
	本園ウェブサイトにより、自己評価及び会計情報を公開していく。ホームページをスマートフォンに対応するようリニューアルする。	ホームページをスマートフォン対応の物にリニューアルし、本園の自己評価・をウェブサイト公開した。	A

#### 4. 学校関係者評価委員会の意見

子どもたちの意欲、個性、成長階段をしっかりと把握しての保育で、親子共々充実した園生活を送れていることに感謝しています。これからも西望幼稚園独自の保育を進めてください。

西望幼稚園保護者	柳原	裕子
〃	小合澤	晃子
〃	西ノ原	久美子
〃	西村	明子

#### 5. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果及び今後の課題

全般的に概ね目標や計画は達成された。今後さらなる成果があがるよう、具体的な計画を立て、実行していきたい。また防災については、マニュアルは作成しさらにマニュアルの改善を進め、学校安全の年間計画の作成に取り組みたい。特別支援児についても、専門機関との連携が上手くいっている。今後も教職員の保育の質、安全安心の意識の向上にさらに取り組んでいく。